

都市再生整備計画 事後評価シート
牟呂坂津地区

平成28年3月

愛知県豊橋市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	豊橋市	地区名	牟呂坂津地区	面積	27ha
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	2,517百万円	国費率	0.4

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名	【道路】牟呂水神町1号線、【土地区画整理事業】牟呂坂津 【地域創造支援事業】生活環境改善事業(牟呂坂津地区)、つどいの広場事業(牟呂地域福祉センター)				
	当初計画から削除した事業	削除/追加の理由	関連事業に移行したため				
	新たに追加した事業	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	影響なし				
	交付期間の変更	当初 変更	H23～H27 -	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-	

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1	宅地利用率	%	54	H22	60	H27	-	73	○	あり なし	土地区画整理事業により、ゆとりある良好な住宅地が形成された。また、狭隘道路が解消され、交通事故、犯罪、災害などにも強い、安全安心なまちが形成されたことにより宅地利用が進んだ。	平成28年4月
指標2	地域福祉センター利用者数	人/日	198	H21	217	H27	-	240	○	あり なし	土地区画整理事業などにより地区内人口が増加したことに加え、つどいの広場事業による取組みや地域住民の様々な活動で利用されたことで利用者が増加し、目標を超える効果があった。	平成28年5月末
指標3	歩道整備率	%	45	H22	82	H27	-	55	△	あり なし	目標には達しなかったが、土地区画整理事業により、歩道が整備され、整備率が向上した。	平成28年4月

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
その他の数値指標1	20～30代の地区内人口	人	264	H23	/	/	-	339	/	/	各事業を実施したことにより、子育て世代が流入し20～30代の人口が増加し、次世代に繋がるまちづくりとなっている。	平成28年4月
その他の数値指標2	幼児・児童の地区内人口	人	105	H23	/	/	-	183	/	/	各事業を実施したことにより、子育て世代が流入し0～12歳の人口が増加し、次世代に繋がるまちづくりとなっている。	平成28年4月
その他の数値指標3					/	/			/	/		

4)定性的な効果発現状況	-										
--------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	住民参加プロセス	実施できた	実施できなかった		
	庁内の他部局に対して随時、事業進捗状況について確認を行い、都市再生整備計画事業全体を把握しながら推進に努めた。	地域住民を対象に、毎年土地区画整理事業に関する出張相談会を開催した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	事業を進捗させるためには、今後も随時進捗状況を確認しながら事業を行う。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
			都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	事業の進捗を図るため今後も引き続き開催する。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	-
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-

様式2-2 地区の概要

牟呂坂津地区(愛知県豊橋市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
良好な住環境を確保し、歴史を感じながら安心して住み続けられる魅力あるまちづくり ①良好な住環境を有する、安心・快適なまちづくり ②地域交流の場の創出による、活力あるまちづくり ③交通災害に強い、安全安心なまちづくり	宅地利用率	単位: %	54	H22	60	H27	73	H27
	地域福祉センター利用者数	単位: 人/日	198	H21	217	H27	240	H27
	歩道整備率	単位: %	45	H22	82	H27	55	H27
	20~30代の地区内人口	単位: 人	264	H23	-	-	339	H27
	幼児・児童の地区内人口	単位: 人	105	H23	-	-	183	H27
		単位: -	-	-	-	-	-	-



まちの課題の変化
 ・地域福祉センターは様々な世代が集う交流拠点としての役割を担い多様な活動に利用されている。更に地域の交流を促進するために、今後も引き続き地域コミュニティの形成の場となる公園の早期整備が求められている。
 ・土地区画整理事業により狭隘道路の解消や歩道整備が進み、生活環境改善事業により道路反射鏡・道路照明灯の設置が進んだことにより、安全安心な生活空間の形成が進んだ。今後も土地区画整理事業を推進すると共に、より安全なまちづくりを進めていく必要がある。
 ・土地区画整理事業により良好な住環境の形成が進んだ。一方で、地域の歴史の継承に配慮したまちづくりが求められている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
 ・本事業で得られた効果を持続しさらなる発展を図るため、土地区画整理事業や公園事業の継続に加え、地域の歴史の承継に配慮したまちづくりを進める。
 ・現在市としては、中心市街地のにぎわいの創出等に取り組んでおり、本地区は、中心市街地と近いため、これら取り組みとの連携を検討していく。